

# あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会  
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 金子 裕昭  
編集人 鈴木 誠

〒379-2166  
群馬県前橋市野中町361番地2  
(群馬県勤労福祉センター2F)  
TEL 027-263-0555  
FAX 027-261-0549  
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp  
URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2013年1月号  
No.213



連合群馬 会長 北川 秀一



新年あけましておめでとうございます。

連合群馬構成組織・地域協議会の役員・組合員の皆様には、ご家族お揃いで晴れやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、超円高やデフレ、社会保障制度の崩壊、さらには就労人口全体の3分の1が非正規労働者である実態などの大きな社会構造的問題を抱える中で、私たち生活者にとって、非常に変化が激しく厳しい時代となってきました。この状況下において、連合群馬では「頼りにされる存在として地域社会に笑顔があふれる活動を進めよう!」を基本目標とし、東日本大震災を受けて「つながろうNIPPONキャッチアップ連合群馬!」をキャッチフレーズに運動を展開してきました。

3つの活動の柱として捉えた「政策提言と実現」では、1万人を超える県民意識調査を基に、議員懇と連携し、7分野55項目の提言を行った結果、約8割の43項目が前進し、県民生活の改善につながりました。「なんでも労働相談」では、相談件数が増加し相談内容も多種多様化する中、労働組合結成の支援や関係機関と連携した取り組みで、

より良い職場環境づくりや問題解決に向けた一翼を担うことができました。「ふれあいフェスティバル」では、各地協の皆様の創意工夫と知恵出しにより、参加しやすいイベントを目指した結果、過去最高の5万人を超える来場者数を記録、多くの県民へ連合群馬の活動を知らせることができました。

本年は、すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現に向けた「活力ある地域を目指した頼りにされる活動の展開!」を基本目標として、県内の働く仲間や地域住民との連携を強め、前を向いた目線で一步一步、明るく元気に活動を進めていきたいと思っております。

組合活動を進める中で、何をするかを決めることも大事ですが、その何をするかを決めた後に、それを実行していく力がなければどんな活動も実にならないと普段から感じています。この力は、それぞれ職場・職種・産別が違う中で、お互いがお互いの立場を尊重しあいながら、信頼関係をベースに群馬県の発展のために協力し合える体制、このことがすべての活動の原点だと思っております。

政策制度を実現させるため、議員との連携は大変重要です。2月に前橋市議選、4月に大泉町議選、7月には参議院選が予定されており、連合群馬の総力を結集し支援する候補者の必勝に向け、取り組みを進めていきます。

本年も変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



一般社団法人 群馬県経営者協会  
会長 児玉 三郎



明けましておめでとうございます。

皆様には健やかなる新春を迎えられたことと、心よりお喜び申し上げます。また、日頃から群馬の労使関係の安定にご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

今年は、政治が安定し、経済基盤の再確立がされる年になることを期待します。毎年首相が変わってはまともな外交は不可能であり、外国に馬鹿にされるだけです。

日本はついに貿易赤字になりました。これだけグローバル化した世界で自由貿易の推進なしでは、鎖国と同じで、日本は滅びてしまいます。TPPやFTA推進の為に期限付きの農業補助も必要でしょう。決められない政治から脱却し、今年こそ日本改革元年にすべきです。

労働人口が減少していく今の日本の現状では、学校や家庭を含めた若年者の教育、更に高齢者の定年延長と女性の活用が日本再生のキーワードと考えます。

我々は公助だけに頼るわけにはいきません。労使が協調し、一体となり道を拓いていくことが必要です。連合群馬の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。